

ホワイト企業大賞を岡山の企業も受賞しています。

津山教育事務所 R2. 7月

ホワイト企業に学ぶ!

「ホワイト企業」とは、社員の幸せと働きがい、社会への貢献を大切にしている企業のことです。厚生労働省が安全衛生優良企業として「ホワイトマーク」の認定を進めています。「ホワイト企業大賞」は「ホワイト企業大賞企画委員会」により毎年選定されています。その最優秀企業として岡山市の企業が2018年に選ばれています。この企業の取組から学校の経営者として学ぶことが多く、各学校の教職員とも共有したい内容ですので、ご紹介します。

【ホワイト企業のメッセージ】 〈2018年第5回ホワイト企業大賞「荒木組」(岡山市)より〉

基本をおろそかにしない。
私たちの基本は「人」の中にある。
真面目に、誠実に、時には愚直に、
人と正面から向き合っていく。

人を軸として、
信頼の循環がつくられていこう。
私たちは本気で
働きやすさに取り組む。

だからこそ、
人を大切にしたい。
人は働きやすければ、いい仕事ができる。
いい仕事ができれば、信頼がつく。
信頼がつくと、人が集まる。
人が集まると、働きやすくなる。

このメッセージは、
職場の雰囲気づくりに、
そして子どもたちへの
指導に生かしていきたい
内容です!

【ホワイト企業の経営理念】

『豊かな創造 永遠の信頼』

- 1 品格と技術を重んじる企業（学校）として社会や未来に貢献する。
- 2 品質と真心によって顧客（児童生徒や保護者、地域の方々）の信頼と期待に応える。
- 3 全員一致協力し、誇りと働きがいのある会社（学校）として発展する。

第5回大賞企業「荒木組」の経営理念とビジョン

【ホワイト企業の経営ビジョン】

- 1 地域社会に根付いた会社（学校）。
お客様（児童生徒や保護者、地域の方々）の思いに応える仕事、地域社会に貢献する仕事を積み重ね、より広いお客様（児童生徒や保護者、地域の方々）からより深い親しみを持っていただける会社（学校）になります。
- 2 思いをかたちにする会社（学校）。
品質（授業等）にこだわりを持ち、より多様なご提案（教育活動）ができる技術力（指導力）と組織力を持った会社（学校）になります。
- 3 未来の建築業（学校教育）を担う会社（学校）。
社員（教職員）一人一人がお客様（児童生徒や保護者、地域の方々）に愛され、決断力と責任感を持ち、組織としても柔軟に結束し、常に努力し成長し続ける生き生きとした会社（学校）になります。

（ ）の言葉に置き換えてみると、ホワイト企業の経営理念や経営ビジョンは、学校経営の大きな指針となる内容です。